

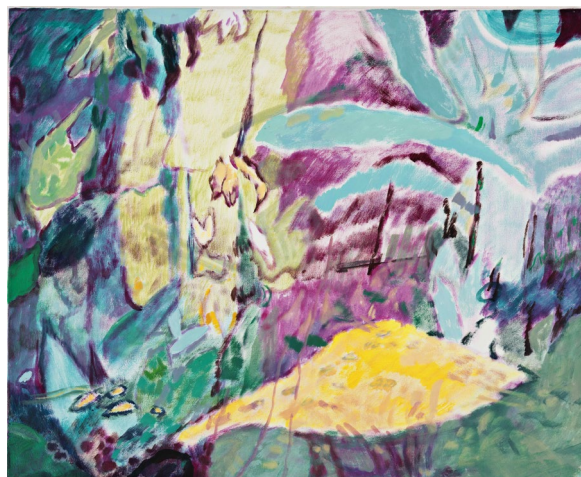
NEWS RELEASE

2020.12.16

生命力溢れる独特な作品世界

柏原由佳 「1:1」

新作を中心に 11 点を展示予定 2021 年 2 月 11 日 (木・祝) から開催



ポーラ ミュージアム アネックス(東京・中央区銀座)では、ベルリンを拠点に制作活動を行う若手アーティスト 柏原由佳の展覧会「1:1」を 2021 年 2 月 11 日 (木・祝) から 3 月 14 日 (日) まで開催します。

柏原は、透明性と濃密さが共存した、生命力溢れる独特な作品世界をつくりあげています。彼女の絵画制作は、西洋の伝統的な古典絵画技法に基づき、半油性下地を独自の配合で混ぜ合わせてキャンバスに塗りこむ作業から始まります。そこでできあがったオリジナルのキャンバスの上に、油絵の具を日本画のように薄く溶き、同時にテンペラ絵具も用いながら描いて独特な深い色彩を表します。

また、柏原の作品には、現実の景色と内なる想像の空間がゆるやかに編み込まれて存在します。その背景には、日本を離れ渡独して制作を続ける彼女の、内と外の「距離」への興味が介在しているといえます。ドイツと日本の物理的な距離、それぞれの文化間での精神的な距離、そして日本人としての自分とドイツにいる自分との距離。それは彼女が作品で繰り返し取り上げる洞窟、穴、山、湖といったモチーフを、内省的な思索をシンボリックにあらわすものへと昇華し、大地にひそむ根源的な自然のエネルギーをも喚起させています。

|| 展覧会概要 ||

展覧会名：柏原由佳 「1:1」

会 期：2021 年 2 月 11 日 (木・祝) - 3 月 14 日 (日) [32 日間] ※会期中無休

開館時間：11:00 - 18:40

入 場：入場無料 / web による事前予約制 (入場枠に空きがある場合のみ当日入場可能)

会 場：ポーラ ミュージアム アネックス (〒104-0061 中央区銀座 1-7-7 ポーラ銀座ビル 3 階)

アクセス：東京メトロ 銀座一丁目駅 7 番出口すぐ / 東京メトロ 銀座駅 A9 番出口から徒歩 6 分

主 催：株式会社ポーラ・オルビスホールディングス

協 力：小山登美夫ギャラリー

U R L：www.po-holdings.co.jp/m-annex

※状況により変更になる場合がございます。ギャラリーHP で最新の情報をご確認の上、ご来館いただきますようお願い申し上げます。

【リリースに関するお問い合わせ】株式会社ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
Info-annex@po-holdings.co.jp TEL 03-3563-5540 / FAX 03-3563-5543

【読者からのお問い合わせ先】ポーラ ミュージアム アネックス TEL 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

左：「Dog Day I」140x190cm アクリル、油彩/キャンバス 2020 年

右：「Pineapple Day」65x85cm アクリル、油彩/キャンバス 2020 年

POLA MUSEUM ANNEX

|| 作家コメント ||

「1:1」

光と影。楽しいことと苦しいこと。あなたとわたし。
いつも背中合わせ。
絵を描いている時は、もう一人の本当の自分に限りなく近い。
作品の向こう側にいるあなた。

美的な感覚というのは、人間の本能と深く関わっているようだ。
認知症の方に、好きな絵を順番に並べてもらうと、次の日も、その次の日も同じ順番で並べるらしい。
人間にとって「美しい」という感覚は、他のものと違って忘れない、無くさない感覚であるようだ。

2011年3月11日。あれから10年が経ち、また世界は大変な状況の中にいる。
何が起こるか分からない。
無力に感じて絶望する時もあるけれど、
きっとすでに内側にある、何かを「美しい」と思う、
そういうものの力を信じたくて今日も絵を描く。



「C World」150x300cm アクリル、油彩/キャンバス 2020年

|| プロフィール ||

1980年広島県生まれ。2006年に武蔵野美術大学造形学部日本画学科を卒業し、渡独。2012年にはVOCA展に出展、佳作賞と大原美術館賞を受賞している。同年、ポーラ美術振興財団在外研修員としてドイツにて研修。ライプツィヒ視覚芸術アカデミーを2013年に卒業し、2015年同アカデミーマイスターシューラーを取得（Annette Schröter教授に師事）。現在、ドイツ、ベルリンを拠点に制作活動を行なっている。
<http://yukakashihara.com>

|| 主な展覧会 ||

個展

- 2021 「檸檬」第一生命ギャラリー、東京
2019 「Polar Green」 8/ ART GALLERY/ Tomio Koyama Gallery、東京
2017 「Self Similar」 Gallery Martin Mertens、ベルリン、ドイツ
2016 「最初の島再後の山」大原美術館、岡山
「空目つむぎ」 8/ ART GALLERY/ Tomio Koyama Gallery、東京
2013 「跡の後」小山登美夫ギャラリー、東京
2012 「トランジション」TKG エディションズ 京都
2011 「～真ん中へ」小山登美夫ギャラリー、東京
2008 「借景展」バウハウス、ドイツ

グループ展

- 2020 「Christmas Smile」ポーラ ミュージアム アネックス、東京
2019 「小山登美夫ギャラリー コレクション展 4」 8/ ART GALLERY/ Tomio Koyama Gallery、東京
2016 「Klassen Treffen」クンストハレ・シュパーカッセ、ライプツィヒ、ドイツ
「コレクションテーマ展 40 VOCA 大原美術館賞の10年」大原美術館、岡山
2015 「Malerinnen aus Leipzig」クンストハレ・シュパーカッセ、ライプツィヒ、ドイツ
「柏原由佳・川島秀明・工藤麻紀子・桑久保徹・桑原正彦・福井篤 作品展」
8/ ART GALLERY/ Tomio Koyama Gallery、東京
2014 「ポーラミュージアムアネックス展 2014 ー光輝と陰影ー」ポーラ ミュージアムアネックス、東京
「Ohara Contemporary at Musabi」武蔵野美術大学美術館、東京
「Kein Spaß」Masterclass Exhibition、ドレスデン、ドイツ
2013 「Kein Spaß」Masterclass Exhibition、エアフルト、ドイツ
「Ohara Contemporary」大原美術館 分館、工芸・東洋館、岡山
「アートがあれば 11-9 人のコレクターによる個人コレクションの場合」
東京オペラシティ アートギャラリー
2012 「VOCA 2012 現代美術の展望 ー新しい平面の作家たち」上野の森美術館、東京
2011 「Mind The Gap」シュペックス-ホーフ、ライプツィヒ、ドイツ
2008 ガレリエ・ブルグストラッセ、ハレ、ドイツ
2007 ガレリエ・ブルグストラッセ、ハレ、ドイツ

パブリックコレクション

大原美術館

クンストハレ・シュパーカッセ

受賞歴

- 2013 佳作賞、大原美術館賞受賞、VOCA 2012 現代美術の展望 ー新しい平面の作家たち